

<b>【技術の名称】</b> エルコラム工法 ースラリー系機械攪拌式深層混合処理工法ー	性能証明番号：GBRC 性能証明 第13-07号（更3） 性能証明発効日：2022年7月1日 性能証明の有効期限：2025年7月末日 <b>【取得者】</b> 株式会社エルフ
---	---

**【技術の概要】**

本技術は、セメント系固化材のスラリーを吐出しながら地盤を掘削攪拌することで、柱状の地盤改良体を築造する機械攪拌式深層混合処理工法である。本技術の特徴は、掘削攪拌機の先端に設けた独自開発の吐出孔から固化材スラリーを吐出することで、土と固化材スラリーの混合攪拌性能を向上させていることである。

**【更新の内容】**

新規：GBRC 性能証明 第13-07号（2013年7月2日）  
更新：GBRC 性能証明 第13-07号（更1）（2016年7月11日）  
GBRC 性能証明 第13-07号（更2）（2019年7月1日）  
GBRC 性能証明 第13-07号（更3）（2022年7月1日）

**【技術開発の趣旨】**

従来の機械攪拌式深層混合処理工法は、土が攪拌翼に付着して一緒に回転する共回り現象を低減するために、共回り防止翼の形状や機構などに独自の工夫を施した技術が多い。本技術は、従来のものより小径の固化材スラリー吐出孔を設けることで固化材スラリーの拡散力を高め、土と固化材スラリーとの混合攪拌性能を向上させて共回り現象を防止することを意図して開発したものである。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。  
申込者が提案する「エルコラム工法 施工管理指針」に従って築造される改良体は、土質に応じて600～2,000kN/m<sup>2</sup>の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計および品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層および粘性土層で25%が採用できる。  
また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

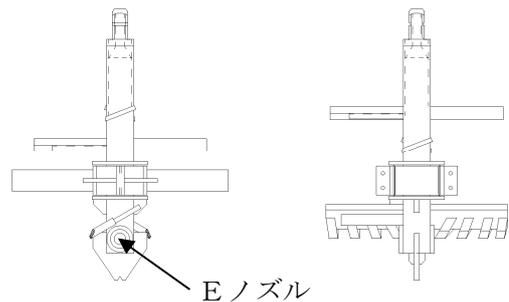


図1 本工法の掘削攪拌機



写真1 本工法の施工機械

**【本技術の問合せ先】**

株式会社エルフ 高松営業所 担当者：山口 普  
〒761-0102 香川県高松市新田町甲 2089-4

E-mail : welcome@elf-inc.co.jp  
TEL : 087-843-1514 FAX : 087-843-1781